

お薬確認システム

チーム名：データテクノロジー部
学校名：日本大学藤沢中学校
制作者：中学3年 横山康介

・1 研究背景、目標

具合が悪くなった時に、薬の飲み違いなどが起きた。
祖父母も薬を覚えるのが大変。
実際に介護施設に聞いてみたところ、かなりの人が似た問題を抱えていることが分かった。

▶これを確認できるものを作りたい。



・2 解決策、研究方法

1. 区別したいもの

薬の名前(ナウゼリンなど)、飲むタイミング(朝昼夜)、錠数

※祖母に何がわかれば薬か聞いてみたものを参考にしました。

2. どうやって作るか

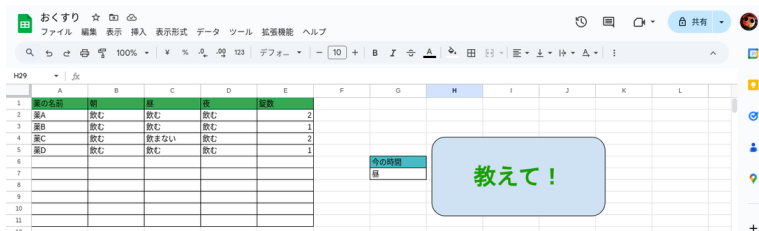
今回は自分にできる範囲でやるため、「スプレッドシート」を使用。
Apps scriptを駆使し、ボタンひとつで確認できるようにする。

※例

薬の名前	朝	昼	夜	錠数
薬A	飲む	飲む	飲む	2
薬B	飲む	飲む	飲む	1
薬C	飲む	飲まない	飲む	2
薬D	飲む	飲む	飲む	1

・3 制作、実行

実際に作り終えました、今回は病人や高齢の方が触ることを考え、赤色は使わないようにしています。



早速上の画像の条件でボタンを押してみると...



条件を変えてもやってみました。



このように、条件に合わせて表示する文が変わるシステムが完成しました。

・4 結果

これを具合が悪くてしばらく飲んでる薬に早速使ってみたところ、確かに前より勘違いや飲み忘れを減らすことができました。

しかし、薬の写真などがないので、いちいち細かく確認する手間がありました。

他にも確認することを忘れてしまっは意味がないことも気がかりました。



・5 結論、今後の展望

・良かった点

しっかりと確認すれば忘れるリスクを大幅に減らせる。

様々な条件を当てはめることができるから楽ちん。

・改善できる点

確認することをお知らせできるようにする。

薬の写真を表示できるようにする。

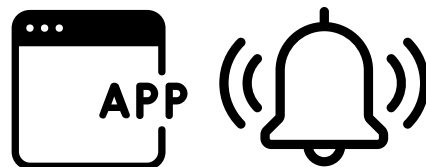
(一度登録する時に写真を撮ってもらってそれを使う感じ?)

・まとめ

今後はスプレッドシートにとどまらず、アプリケーションとしての実現を目指していきたい。

(通知などをできるようにしたい)

もしそれが実現したときは実際に問題を抱える人に役に立つものになることを目指したいです。



・6 使用したもの、参考文献など

- ・使用したサイト、アプリ
- ・プログラミング、システム作成
- ・スプレッドシート
- ・Apps script
- ・ポスター作成
- ・canva
- ・使用端末
- ・chrome book

